

# 大阪城

2023  
3/13 (日)  
14337号

全港  
西成  
今川

2247  
6647-  
4947

春がやってきた。冬が終り自然も乾燥を始めて。人々の服装も軽やかになってきた。マスクも今日から個人の判断とかいう。

地球の経済政治力学もゴロリと変換している。中東アラブで。今まで対立していたイランとサウジアラビの二大国が。中国の仲介で。和解し国交を正常化すると発表されている。人々がウクライナに耳目を集めている間に中南米・アフリカ・中東アラブ・グローバル・サウスといわれる途上国。新興国は。中国・ロシアと接近している。

国内経済も。4/4より植田日銀総裁体制になり。黒田・安倍の時代は終る。金利上昇、国債の利払い、インフレ、物価高時代に突入していく。我々の地元では4/1より。西成労働福祉センターが。朝5時と8時半のセンターの窓口をいめるという。また。正式な発表はないが厚生労働大臣の許可を得て行く無料の職業紹介事業を。朝5時と8時半までやったの。窓口をいめるという。無秩序な違法な違反が拡大した。早朝のセンターでの心配が広がっている。

今は閉まっているセンターの時から。ノ階の丸い事務室に500人の職の員が。早朝5時すぎから。プラカードと業者者に渡したりしていた。二丁目一番地の仕事をやめたり責任をばたせないう。

# 年度末なのに人も仕事も低調



3月は昔から「年度末工事」といつてセンターに仕事と労働者が集中して活気ある風景になるのが通例なんです。が、今期下半期は、一貫して求人下がりがつぱなしになっていて年度末が最低みたいな傾向になつているようです。

そもそも公共事業そのものも減つていて、加えて役所の仕事も変わって3月年度末に予算消化のための仕事が集まることもすくなくなつている面もありそうです。

明日が「コロナ対策」の「マスク着用」の国からの「推奨」が終わって、5月に五類分類扱いになるので、どうなるか、新年度には仕事の回復につながるのか注目です。

## 賃金引き上げが最善の経済対策

